

育成会だより

2022年度 第2号

発行 NPO 法人はばたけ手をつなぐ育成会

〒668-0031 豊岡市大手町7番9号

TEL: 0796-24-3660

FAX: 0796-34-6433

[E-mail] toyoteiku@tuba.ocn.ne.jp

[URL] <http://www.toyoteiku.com/>

編集 本部事務局 2022年9月30日

サポート協会地域生活支援事業研修会

8月26日兵庫県知的障害児者生活サポート協会地域生活支援事業助成事業として「防災学習会」～段ボールトイレを作ってみましょう～と題して、防災士 福井直美氏を講師に研修を行いました。



災害への備え・防災グッズを100均でそろえるなど、高価な物を購入しなくても身近にある物で、準備出来る事を学びました。また段ボールトイレの作り方の実践がありました。数分で完成し大人が座っても安心！軽量なので持ち運びも便利です。

参加された皆さんにとって、防災についてとても参考になった研修会でした。

就労継続支援B型 すいーつ

6月に1名の利用者さんをお迎えしました。現在14名の利用者さんで製菓室の作業中は、コロナ対策として、お互い接触することのないよう指導し、実践していただいています。



コロナ禍で、縮小されていた行事等も少しずつ再開されて、城崎ふるさと祭り・学校祭の販売などに、利用者さんと一緒に参加させていただけるようになりました。対面販売は緊張感がありますが、やりがいを感じておられるようです。製造では、利用者さんの個々に合わせて、道具・方法を工夫して取り組んでいただいています。「出来た！」「出来るようになった！」の声を聞いた時は、とびっきりの笑顔です。他には自発的に、作業を見つけ取り組まれる様子も見受けられます。利用者さんが達成感を得られるような取り組みに努めています。

イベント商品として、10月のハロウィンから再開いたします。イベントならではの商品を取り揃えています。

一人一人が自信をもって製造された商品をお届けいたします。一人でも多くのお客様に召し上がっていただければ幸いです。〈W〉



生活介護 じゃんぷ よい

6月から新人職員が加わり、新体制になりました。最初利用者さんは、戸惑いがあったのか緊張されていましたが、一緒に活動をするにつれて笑顔が見られ、今では信頼関係が築けたかと思っています。支援をしている中で「こういう場合はどうしたらいいだろう？」という出来事もあります。そんな時は初心に戻り、職員同士で話し合い、時には利用者さんに聞いたりしながら問題を解決しています。



最近の活動はレクリエーションをして過ごす時間が多くなっています。

その中での「魚釣りゲーム」では、手作りの釣り竿で利用者さんが描いて作った魚を釣り、点数を競い合います。みなさんいい笑顔をされていました。また、「宝探し」では、宝物の絵を書いた紙を隠す人と、探す人に分かれてみなさんが、どこに隠そうかウキウキされていたり、中々宝の紙が見つからず、悔しそうな顔をされたり、いつもとは違ういい表情が見られました。利用者さんから、活動のアイデアを提案して頂く事もあり、その発想力に感心することも度々あります。



過ごしやすい季節になり、利用者さんと外出など含め色々活動するのが楽しみです。
(Y)



障害児通所支援事業 つくし よい

毎年夏休みは、午前中に個別のワークに取り組み、午後からゲーム・工作・音楽遊びなど日替わりで、いろいろな集団活動や自由遊びなど、朝から夕方まで元気に利用者さんたちが活動されています。しかし、今年度の夏休みは、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、利用者さん、保護者の方に、大変ご迷惑をおかけしてしまいました。

そんな夏休みではありましたが、今年度初めての取り組みとして参観日を実施しました。6名の保護者の方が、利用者さんのワークや遊びの様子を参観されました。利用者さんたちは、お父さんやお母さんが見守られる中、一生懸命ワークに取り組んでおられました。今まで年2回の面談で、利用者さんの様子についてお伝えしておりましたが、実際にワークに取り組まれている様子や自由遊びの様子を見て頂き、つくしで過ごしておられる様子をより詳しく知って頂く機会になったかと思えます。



スタッフにとりましても、面談とはまた違った形で、利用者さんの様子についてお話させていただくことができ、大変有意義な機会となりました。ありがとうございました。

また今年度、12月に開催予定のフェスタに向けて、利用者さんと一緒に、ステージの企画や展示品の製作活動を進めていきたいと思っています。
(S)



生活介護 ほっと より

残暑厳しい中、ほっとでは活気あふれる活動に取り組みました。

LAU 利用者さんは、お馴染みの玄関アートで夏の風物詩、花火とかき氷を制作しました。

花火は先を細く切ったストローでスタンプング。かき氷は、半紙で作ったふわふわ氷に絵具でシロップをスタンプし、その上に広告で切り抜いた好きなフルーツをのせて出来上がりです。本物そっくりのかき氷に「おいしそう〜!!」「食べたいなあ〜!!」と笑顔でいっぱいになり、暑さも吹っ飛び、ほっとしたひと時を過ごすことが出来ました。また、施設裏にあるミニ菜園のさつまいもが、土の中からひょこり顔を出していました。そろそろ収穫の時期がきているかも……。どんな大きさのさつまいもが収穫できるか楽しみです。



塩津の Bee 班は、野菜の収穫もひと段落し、暑い中でも日陰を探しながら、缶仕分けや草取り等の作業を頑張りました。また、運動として植村直巳スポーツ公園やコウノトリの郷公園での歩行に取り組み、森林浴気分を味わいました。はっち班は、仕事の資源回収・資源納め・ゴミ回収が終わると休憩。心地良い「光」と「オルゴールの曲」を楽しみながらリラックス出来る、スヌーズレン部屋にて過ごされました。

これからの季節、爽やかな秋風を感じながら仕事や活動に取り組み、12月のフェスタに向けて出し物の準備や練習に励みたいと思います。 (H)

ヘルパーステーションはあと より



＝コロナ禍での移動支援＝

7月に入り、豊岡市でもコロナ感染者が増えてきました。コロナ感染対策として支援内容を変更し、店での飲食はせず商品をテイクアウトし、持ち帰るか外で食べることを徹底しました。

利用者さんの生活を支えるための日用品や食料の買い物等、必要不可欠な外出は、コロナ感染に注意しながら支援を行いました。そのような状況でも利用者さんには、楽しんでいただきたいと思います。そのような状況でも利用者さんには、楽しんでいただきたいと思います。小人数を確認したうえで、ゲームコーナー、ボウリング、カラオケに行きました。とても楽しそうにされていました。

グループホームでの身体介護では、フェイスシールドや手袋等を使用し、感染対策を徹底し対応させていただきました。マスク着用が日常になってきている状況下でも、感染対策に気を付けながら、利用者さんに楽しんでいただけるよう、外出支援を行います。 (N)



グループホームOHANA よい

グループホーム OHANA には、「あお-1」「あお-2」「にじ-1」「はるぞら」とそれぞれ特色ある4つのホームがあります。

「あお-1」は、木造2階建てを改築した建物に、5人の男性利用者が生活されています。元々が民家だったので、一般家庭のような雰囲気です。

「あお-2」と「にじ-1」は、同じ建物の中に、1階が男性利用者さん用の「あお-2」、2階が女性利用者さん用「にじ-1」となっています。ほぼ同じ間取りで、全て南向きに面した明るい居室、広い廊下とリビングダイニング、スライドシート付浴槽とトイレ付の浴室。重度の利用者さんも快適に暮らしやすい環境となっています。

「はるぞら」は、自立度の高い利用者さん又は、集団生活が苦手な利用者さん向けに作られた、全国でも珍しいワンルームマンション型のホームです。各居室に、バス・トイレ・ミニキッチンがついており、朝食と休日の昼食は、自分で準備しておられます。



<M>

本人部会

感染拡大により、予定していた内容が幾つか変更になりましたが、9月に入ると少しずつ感染者が減少してきましたので、9/17(土)の『カレンダー作り』は予定通りに開催しました。



A3用紙を使い、下半分には日付が印刷してあるので、上半分にマジック・クレヨン・色鉛筆・シール等を使って、自由な発想でデザインしてもらいました。皆さん楽しそうに作成されていました。世界に一つだけの2023年のカレンダーが出来上がりました。



編集後記

暑い夏が終わり、周辺ではそよ風にススキが揺れ、虫の鳴き声を感じる季節となりました。読書の秋、スポーツの秋、味覚の秋の到来です。感染予防をしながら楽しみましょう。〈I〉